

○八尾市制施行六〇周年協賛 ○ユネスコ協賛

『しおんじやま芝能』を開催して

高安ルーツの能実行委員会

「高安が能ゆかりの地である」ということを少しでも、市民のかたに知って頂きたいと、二年前から地道な活動を初め、この趣旨に賛同する仲間がたくさん集まった。

「心合寺山古墳でお能ができたらいいね」墳丘を歩きながら語った夢は、こんなにも早く実現した。

この『しおんじやま芝能』は平成二十年度の八尾市市民活動支援基金助成事業として認められ、助成金を頂けることになった。しかし、限られた予算内でのプロデュース。能の興行はかなりのお金がいる。能楽師さんのご理解とご協力がなければ実現できなかっただろう。

「高安ルーツの能実行委員会」のメンバーは様々な分野の方々と、忙しいなか、毎日夜遅くまで会議は続いた。

国の指定史跡である心合寺山古墳での能は思っていたより大変で、許可を簡単に貰えず挫折しそうになったけれど、文化財課から頂いた「古墳使用許可書」を皆で回して見た時のことを今も忘れない。

十月十九日、晴天に恵まれ、大阪経済法科大学の学生ボランティアさんの協力で、舞台設営もあつとというまだった。

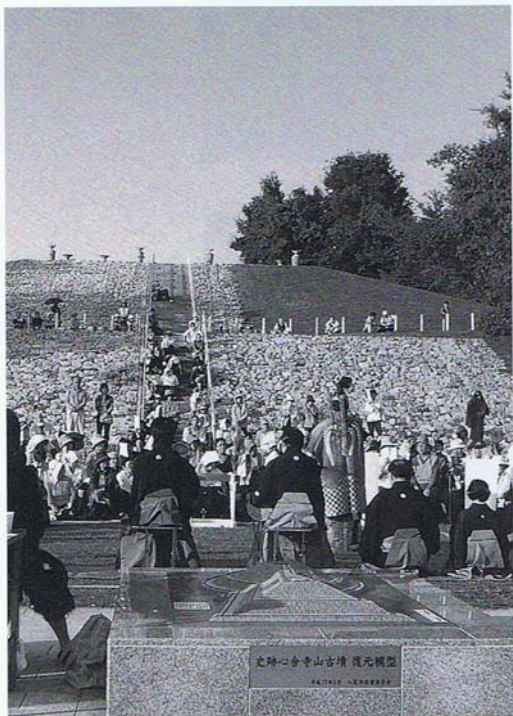
まずは仕舞が二曲、長い杖を持ち「弱法師」が舞われ、次の「土蜘蛛」では蜘蛛の糸が何本も綺麗な弧を描いていた。そして、最後は高安ならではの演目『井筒』だ。井戸にたてられた

薄が秋風に靡いていた。

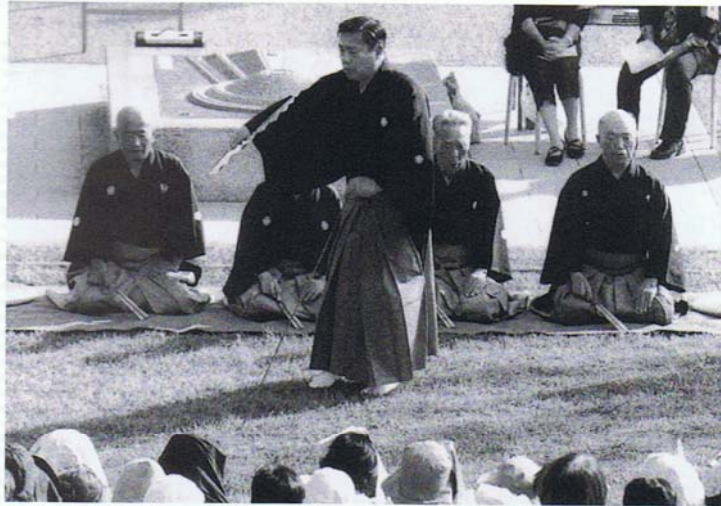
「高安が能の発祥地」とは言うのは少し憚りがあるが、能の流派に高安流があることを自慢したい。そして五十余年、こんなに素晴らしい八尾で育ったことを誇りに思う。

(文責 中西)

此のたび、能楽写真家協会会員秦晴夫様から貴重な写真を頂戴いたしました。「高安ルーツの能実行委員会」の許可を得、今号グラビアに掲載させて頂きました。秦晴夫様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。



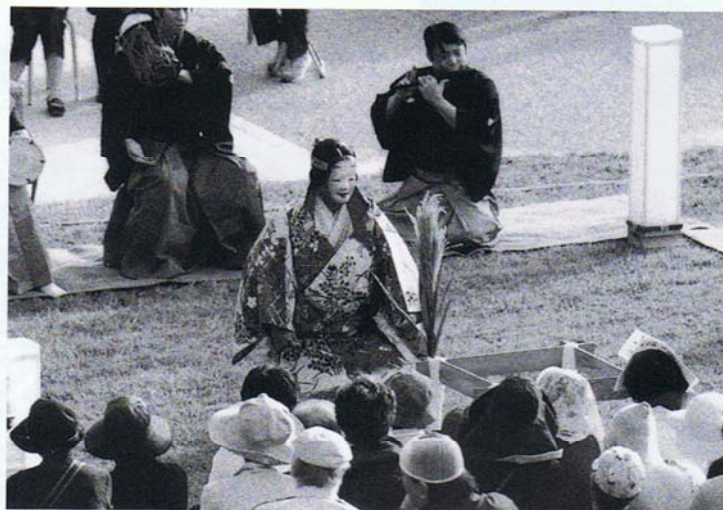
写真提供「いづみ苑」



【弱法師】井戸和男師（重要無形文化財総合指定保持者）



【土蜘蛛】井戸良祐師 山中雅志師



【井筒】生一知哉師



坂本昭三師 川村靖彦師 原大師（高安流）ワキ方
國枝良雄師 越智芳彦師（地謡）



大鼓 高野彰師（高安流）



大阪経済法科大学の学生さんと「高安ルーツの能実行委員会」のメンバー